



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 株式会社 エージーピー
 コード番号 9377 URL <http://www.agpgroup.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 山口 栄一
 (氏名) 村尾 学

TEL 03-3747-1631

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,824	1.7	168	△10.1	169	△23.1	104	△24.6
29年3月期第1四半期	2,777	12.7	187	211.0	220	315.1	138	407.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 113百万円 (△7.6%) 29年3月期第1四半期 123百万円 (335.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	7.46	—
29年3月期第1四半期	9.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	12,225	7,684	62.9
29年3月期	13,196	7,737	58.6

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 7,684百万円 29年3月期 7,737百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	5.00	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	14,000	13.9	1,300	16.5	1,300	14.8	770	2.1
								55.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	13,950,000 株	29年3月期	13,950,000 株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	1,980 株	29年3月期	1,980 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	13,948,020 株	29年3月期1Q	13,948,050 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内需要の持ち直しや、雇用情勢に改善の動きがみられ、緩やかな回復基調が継続しました。

また、海外経済の不確実性や金融市場に不透明感があるものの、米国をはじめ、欧州、アジア地区も総じて景気の持ち直しがみられております。

航空業界では、訪日旅客は過去最高のペースで推移しており、国際線の路線開設・増便が進み、需要は堅調に推移しております。

このような状況下における当社業績は、動力事業、整備事業では増収となったものの、付帯事業ではフードカート販売数が減少したことにより減収となりました。

この結果、売上高合計は 28 億 24 百万円と前年同期比 47 百万円 (1.7%) の増収にとどまりました。

営業費用につきましては、労務費等が増加し、26 億 56 百万円と前年同期比 66 百万円 (2.5%) の増加となりました。

以上により、営業利益は 1 億 68 百万円と前年同期比 18 百万円 (10.1%) の減益、経常利益は前期に計上した受取補償金の影響により、1 億 69 百万円と前年同期比 50 百万円 (23.1%) の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は 1 億 4 百万円と前年同期比 34 百万円 (24.6%) の減益となりました。前年同期比では増収減益となっておりますが、予定していた利益計画を若干上回る状況で推移しております。

各セグメントの業績は次のとおりです。

① 動力事業

航空需要拡大に伴う電力供給機会の増加に加え、B787、A350 等の使用増加に伴う増収により、売上高は 13 億 44 百万円と前年同期比 66 百万円 (5.2%) の増収となりました。

セグメント利益は、上記増収に加え、減価償却費の減少等により、3 億 2 百万円と前年同期比 79 百万円 (35.9%) の増益となりました。

② 整備事業

成田・羽田・関西空港における、特殊機械設備整備工事の増加等により、売上高は 10 億 92 百万円と前年同期比 36 百万円 (3.5%) の増収となりました。

セグメント利益は、労務費の増加等により、91 百万円と前年同期比 54 百万円 (37.3%) の減益となりました。

③ 付帯事業

低カリウム野菜の販売店舗数の増加や小売電気販売による増収はあるものの、フードカート販売において、当四半期は大型案件がなかったこと等により、売上高は 3 億 88 百万円と前年同期比 56 百万円 (12.6%) の減収となりました。

セグメント損益は、23 百万円の損失となり、前年同期比 30 百万円の減益となりました。

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益又は損失 (△)		
	29 年 3 月期 第 1 四半期	30 年 3 月期 第 1 四半期	前年同期比 (%)	29 年 3 月期 第 1 四半期	30 年 3 月期 第 1 四半期	前年同期比 (%)
動力事業	1,277	1,344	105.2	222	302	135.9
整備事業	1,055	1,092	103.5	145	91	62.7
付帯事業	444	388	87.4	7	△23	—
合計	2,777	2,824	101.7	376	370	98.6
全社費用*				189	202	107.1
営業利益				187	168	89.9

*全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度（以下「前期」という）末比 8 億 86 百万円（13.5%）減少の 56 億 95 百万円となりました。これは、受取手形及び営業未収入金が 10 億 36 百万円、繰延税金資産が 54 百万円減少し、現金及び預金が 1 億 23 百万円、商品及び製品、仕掛品、原材料および貯蔵品等の棚卸資産が 1 億 29 百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前期末比 83 百万円（1.3%）減少の 65 億 30 百万円となりました。これは、主に有形固定資産が 1 億 59 百万円減少し、投資その他の資産が 61 百万円増加したことによります。

この結果、総資産は前期末比 9 億 70 百万円（7.4%）減少し、122 億 25 百万円となりました。

(負債)

流動負債・固定負債は、前期末比 9 億 17 百万円（16.8%）減少の 45 億 41 百万円となりました。これは、営業未払金が 2 億 29 百万円、未払法人税等が 1 億 89 百万円、未払金が 3 億 4 百万円、未払費用が 1 億 34 百万円、流動負債・固定負債を合算した長期借入金が 91 百万円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は、前期末比 53 百万円（0.7%）減少の 76 億 84 百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益および剰余金の配当を加減算した結果、利益剰余金が 63 百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第 1 四半期におきましては、ほぼ計画通りに推移しておりますので、平成 29 年 5 月 11 日に発表しました通期業績予想を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,936,076	3,059,455
受取手形及び営業未収入金	2,462,158	1,425,993
商品及び製品	81,538	99,306
仕掛品	50,637	123,085
原材料及び貯蔵品	630,487	669,851
前払費用	168,547	153,085
繰延税金資産	164,761	110,519
その他	88,018	54,160
貸倒引当金	△89	△89
流動資産合計	6,582,136	5,695,369
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,613,015	10,636,648
減価償却累計額	△8,374,903	△8,440,450
建物及び構築物（純額）	2,238,111	2,196,198
機械装置及び運搬具	9,488,125	9,462,945
減価償却累計額	△7,178,187	△7,169,956
機械装置及び運搬具（純額）	2,309,937	2,292,988
土地	110,608	110,608
リース資産	190,777	190,803
減価償却累計額	△124,259	△127,678
リース資産（純額）	66,518	63,124
建設仮勘定	461,261	358,297
その他	522,391	531,864
減価償却累計額	△486,070	△489,630
その他（純額）	36,320	42,234
有形固定資産合計	5,222,757	5,063,451
無形固定資産		
特許権	70,026	67,238
ソフトウェア	55,168	71,518
ソフトウェア仮勘定	3,840	5,755
その他	33,464	32,010
無形固定資産合計	162,499	176,522
投資その他の資産		
投資有価証券	209,877	268,488
繰延税金資産	564,071	563,757
敷金及び保証金	200,828	202,378
長期前払費用	36,504	34,207
退職給付に係る資産	215,497	218,683
その他	2,145	2,705
投資その他の資産合計	1,228,924	1,290,221
固定資産合計	6,614,182	6,530,195
資産合計	13,196,318	12,225,565

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	833,248	603,437
短期借入金	73,500	77,787
1年内返済予定の長期借入金	345,732	362,882
リース債務	28,998	29,702
未払法人税等	203,373	14,372
未払消費税等	137,662	68,739
未払金	352,947	47,951
未払費用	512,354	377,843
その他	32,064	126,803
流動負債合計	2,519,880	1,709,520
固定負債		
長期借入金	848,968	740,405
リース債務	42,666	38,416
製品保証引当金	7,715	6,932
退職給付に係る負債	1,968,550	1,975,470
資産除去債務	70,694	70,706
固定負債合計	2,938,595	2,831,932
負債合計	5,458,476	4,541,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,038,750	2,038,750
資本剰余金	114,700	114,700
利益剰余金	5,638,585	5,575,281
自己株式	△694	△694
株主資本合計	7,791,341	7,728,037
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,326	48,018
退職給付に係る調整累計額	△96,825	△91,943
その他の包括利益累計額合計	△53,499	△43,924
純資産合計	7,737,841	7,684,112
負債純資産合計	13,196,318	12,225,565

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,777,567	2,824,699
売上原価	2,340,991	2,389,735
売上総利益	436,576	434,963
販売費及び一般管理費	249,565	266,849
営業利益	187,011	168,113
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4,594	4,018
保険事務手数料	243	240
受取補償金	40,199	—
その他	268	1,050
営業外収益合計	45,306	5,309
営業外費用		
支払利息	4,813	3,493
災害復興支援費用	3,804	—
その他	3,572	619
営業外費用合計	12,190	4,113
経常利益	220,126	169,310
特別損失		
固定資産除却損	6,865	8,601
特別損失合計	6,865	8,601
税金等調整前四半期純利益	213,261	160,709
法人税、住民税及び事業税	18,472	6,307
法人税等調整額	56,678	50,329
法人税等合計	75,150	56,636
四半期純利益	138,110	104,072
親会社株主に帰属する四半期純利益	138,110	104,072

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	138,110	104,072
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,007	4,692
退職給付に係る調整額	5,951	4,882
その他の包括利益合計	△15,055	9,574
四半期包括利益	123,054	113,647
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123,054	113,647

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	動力事業	整備事業	付帯事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	1,277,901	1,055,476	444,188	2,777,567
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,277,901	1,055,476	444,188	2,777,567
セグメント利益	222,578	145,952	7,535	376,066

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	376,066
全社費用(注)	△189,055
四半期連結損益計算書の営業利益	187,011

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	動力事業	整備事業	付帯事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,344,413	1,092,152	388,132	2,824,699
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,478	2,234	49,413	57,126
計	1,349,892	1,094,387	437,545	2,881,825
セグメント利益又は損失(△)	302,570	91,516	△23,457	370,629

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	370,629
全社費用(注)	△202,515
四半期連結損益計算書の営業利益	168,113

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。